

## 《コロナに負けるな！経営者の決意》 激動期に挑む各支部長の決意（第2弾）

前号（第7号）で紹介出来なかった各支部長の決意（挨拶）をご紹介します。



「この厳しい状況を、どう乗り越え、どう生き残るか自分たちの意志で決めていく事を肝に銘じて、同友会活動を発展させていきたい」  
●オホーツク支部：田村 友朗 支部長



「会員同士でコロナへの具体的対応の知恵を交流し合い、情報を共有して難局を乗り越えましょう！皆さんからも、同友会への要望や提案を沢山出して下さい」  
●函館支部：高橋 泰助 支部長



「これまでの考え方を踏襲しつつ、新しい価値の創造を支部会員の皆さんに提示していきたい！」  
●苫小牧支部：高橋 憲司 支部長



「過去と他人は変えられませんが、未来と自分を変えられます。今こそ、強じんな企業づくりを！」  
●くしろ支部：長江 勉 支部長

## 各支援策のご紹介（抜粋）

国・道が実施している支援策をご紹介します。窓口や具体的な申請手続きなど、不明な点があれば、各支部同友会事務所へお気軽にご連絡下さい。

1. 持続化給付金 [経済産業省]	<p>【給付額】法人200万円、個人事業主100万円                  【支給要件】ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少                  【申請方法】基本は『持続化給付金ホームページ』からのオンライン申請です。                  ※申請サポート会場が順次設置予定です。</p>
2. 実質無利子融資の民間金融機関への拡大 [経済産業省]	<p>都道府県が実施する制度融資を活用し、売上高が減少し、セーフティネット保証4号・5号、危機関連保証の認定を受けた事業者は、保証料負担ゼロ化、民間金融機関の金利が実質無利子化されます。（『各金融機関』にお尋ね下さい）                  【融資上限額】3千万円                  【保証料負担ゼロ、実質無利子（当面3年）の要件】                  ■個人事業主：売上高▲5%                  ■中小・小規模：売上高▲15%                  ■元本返済の措置期間：5年以内</p>
3. 休業協力・感染リスク低減支援金 [北海道]	<p>4月25日(土)から5月15日(金)までの期間、休業要請に協力し、感染リスクを低減する自主的な取組を行う事業者に対し、支援金が支給されます。                  ■支援額：法人30万円、個人事業主20万円 ※『北海道のホームページ』参照                  ■申請受付期間：4月30日(木)～7月31日(金)                  ■申請方法：郵送(4/30～)・電子申請(5/15～)による                  ※市町村によっては上乘せ支援制度を設けている場合があります。</p>
4. 雇用調整助成金の特例が拡充 [厚生労働省]	<p>(1) 中小企業が道知事からの休業要請を受ける等、一定の要件を満たす場合は、休業手当全体の助成率を特例的に100%とします。（現段階では上限は8,330円ですが、上限額の引き上げも検討されています）                  (2) (1)に該当しない場合であっても、中小企業が休業手当を支給する際、支払率が60%を超える部分の助成率を特例的に100%とします。                  ※生産指標要件を1ヶ月で▲5%以下に緩和しました(4月22日～)</p>